

No.

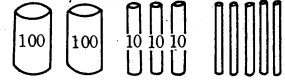
問 番号	①				②				③				④				⑤				計	
	P ₁		P ₂		P ₁		P ₂		P ₁		P ₂		P ₁		P ₂		P ₁		P ₂		P ₁	P ₂
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	8	10
2	215	○	114	○	○	○	○	>	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	1 ₃ ²	3	7
3	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	7	10
4	○	○	○	○	○	○	○	>	○	○	○	100	○	○	○	○	○	○	○	○	5	10
5	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	0	5
6	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	9	10
7	○	○	○	○	○	○	○	>	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	8	10
8	○	○	10	○	○	○	○	>	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	1 ₃ ²	2	9
9	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	720	○	○	○	○	○	○	1	8
10	○	○	○	○	80	○	4	>	○	○	○	991	○	○	○	○	○	○	○	○	4	9
11	○	○	○	○	○	○	○	>	○	○	○	○	○	740	○	○	○	○	○	○	3	7
12	○	○	○	○	○	○	○	>	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3	7
31	○	○	○	○	○	○	○	>	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	8	10
32	○	○	○	○	○	○	○	>	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	9	10
33	○	○	49	○	○	○	4	>	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	1	6
34	○	○	49	○	○	○	○	>	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3	9
35	○	○	140	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	1	7
36	三	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	0	5
37	135	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	200	○	○	○	○	○	○	○	○	0	7
38	○	○	○	○	○	○	4	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3	7
39	○	○	○	○	80	○	4	>	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	6	10
計	30 人 76.9 %	39 人 100	15 人 38.5	39 人 100	13 人 33.3	37 人 94.9	10 人 25.6	34 人 87.2	5 人 12.8	38 人 97.4	30 人 76.9	36 人 92.3	22 人 56.4	33 人 84.6	15 人 38.5	29 人 74.4	21 人 53.8	30 人 76.9	3 人 7.7	2 人 53.8	42.1	86.2

※有効度指数=76.2

〈問題〉

① かずをすうじでこたえなさい。

① ぼうのかず



② 100を4こ、1を9こあつめたかず

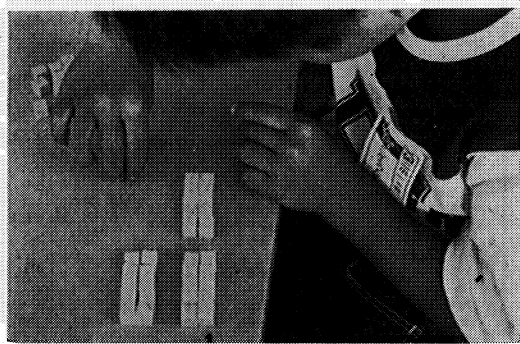
② 804の百のくらしい十のくらしいのすうじをかきなさい。

③ どちらが大きいか。
895 904

④
850 (①) 970 980 990 (②)

⑤ ① 720 = (①) + 20
② 900 - 300 = (②)

⑥ つぎのしきの□にあうすうじをかきなさい。
(しき)
6 0 < 640



うましくかなあ

- ③ 操作活動にも児童に個人差があり個別化を考慮していく必要がある。
- ④ 操作活動は、次への発展課題を常にもちあわせていく必要がある。これがないと、中身のない単なる「あそび」となってしまうおそれがある。
- ① 数の概念は抽象的なものであり、ことばでも、ものでも示しにくいものであるだけに、一層具体的なものを取り扱いながら、確かな概念を作っていく必要がある。
- ② 児童が思考を働かせるときは、具体的なものや念頭において考えているといわれている。したがって、算数におけるいろいろな原理の理解に当たっても、ことばで説明するよりも、具体的なものの操作を通して一般化させていく必要がある。



そうら、うましくったぞ